

第6学年 学びの 카테고리 「まちづくり」



6年1組は、「魅力的なまちづくり」をテーマに掲げ、実際のまちを調査するために何度も柳ヶ瀬商店街を訪れた。商店街の見学や商店街で出会った人と関わることを通して、一人一人がまちのためにやりたいことを見つけた。さらに、自分たちにできることについて、仲間と対話する中で、プロジェクトを立ち上げることになった。まちの人のことを考えながら、よりよいプロジェクトの実行に向けて何度も話し合いを行ってきた。

6年3組は、「よりよい岐阜のまちづくり」をテーマに掲げ、岐阜駅へ行き、岐阜市に住んでいる人や岐阜市を訪れた人に対して「今の岐阜市に対してどのような魅力を感じているのか」という調査を行った。その結果から、自分たちできることは何かを考えてきた。

岐阜のまちのために働きかけている人に共感し、その人のためにも自分たちでもできる活動のプロジェクトを計画する。



鈴木 香子
牧村 拓
富倉 亮

6年1組

年間指導計画

「学びの 카테고리」：まちづくり（全105時間）

<p>第6学年の目標</p>	<p>(1) 問題解決力に関わって まちやそこに住む人との関わりを通して出会った問いをもとに、自分や仲間、そこで暮らす人が幸せに生きるために自分にできることを考え、やり切ることができるようにする。</p> <p>(2) 関係構築力に関わって 自分や仲間、そこに住む人の幸せのために行う様々な活動を通して、自分の考えと仲間やまちの人の考えを比較し、相違点を受け入れ、様々な考えを踏まえた上で、よりよい考えを生み出すことができるようにする。</p> <p>(3) 貢献する人間性に関わって 社会の様々な事柄について課題意識をもち、解決しようとする活動を通して、自分が行動したことが相手の幸せやよりよい社会につながっていることを実感し、行動しようとする態度を養う。</p>															
<p>カテゴリー設定の理由</p>	<p>第5学年では、学校生活の身近な暮らしにある「人・もの・こと」に繰り返し関わりながら、探究的活動に取り組んできた。第6学年ではカテゴリーを「まちづくり」とし、対象の範囲を地域に広げて探究的活動に取り組む。その過程において、子どもは、学校からさらに外にある地域に関わる人・自然・文化へと認識を広げ、地域の人々の幸せを考えたまちづくりに向けて、自分にできることは何かを考え、行動していく。</p>															
<p>学びの基盤となる道徳的諸価値</p>	<p>善悪の判断、自律、自由と責任・希望と勇気、努力と強い意志・真理の探究・親切、思いやり・友情、信頼・相互理解、寛容・勤労、公共の精神・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度・自然愛護</p>															
<p>学びを構成する要素</p>	<p>まち 市民 政治 法 環境 自然 交通 人口 建物 歴史 文化 活気 魅力 生き方 成長 目標</p>															
<p>月</p>	<p>4月</p>	<p>5月</p>	<p>6月</p>	<p>7月</p>	<p>8月</p>	<p>9月</p>	<p>10月</p>	<p>11月</p>	<p>12月</p>	<p>1月</p>	<p>2月</p>	<p>3月</p>				
<p>単元名(時数)</p>	<p>「まちってどんなところ？」 「岐阜のまちのためにできることってどんなこと？」 (35時間)</p>					<p>「魅力的なまちづくりに向けたプロジェクトの計画・提案・実行」 (45時間)</p>					<p>「自分や周りの人の幸せを考える」 (25時間)</p>					
<p>主な学習活動</p>	<p>○5年生のどう生きるかでのような力をつけたか振り返る。 ○「どんなまちに住みたいのか」「どんなまちに住みやすいまちなのか」(理想のまち)を考える。 ○「岐阜のまちに自分たちができること」を考える。 ○実際にまちが、自分たちが考えた「住みやすいまち」になっているのかを考える。 ○岐阜の「柳ヶ瀬商店街」の実態をまち探検を通して捉え、柳ヶ瀬商店街をまちの人にとって「住みたいまち、訪れたいまち」にしていくために、どう行動すればいいのかを仲間と探究していく。 ○自分たちの住んでいるまち(岐阜)で感じたことを、奈良や京都のまちでも見てくる。 ○自分が知りたいことを視点にして、もう一度柳ヶ瀬商店街に行き、実態を調査してくる。 ○プロジェクトの実践のための準備をする。</p>					<p>主体的に情報を収集する</p>	<p>○プロジェクトを計画・提案していく。 ○願いの実現に向けて、プロジェクトを実行する。 ○プロジェクトの振り返りを行う。 ○自分の活動が本当にまちの人のためにになっているのかを考え、プロジェクトの計画・提案・実行を行う。 ○柳ヶ瀬商店街を訪れる人にインタビューに行く。 ○願いの実現に向けて、プロジェクトの計画・提案・実行を行う。 ○実行したプロジェクトを振り返り、岐阜のまちを「より魅力的なまち」にしていくために、自分が岐阜のまちづくりに参画できることを見だし、仲間とプロジェクトを計画・提案・実行する。</p>					<p>○プロジェクトを再計画し、提案する。 ○プロジェクトを実行する。 ○自分たちが行ったまちづくりの成果を発信する。 ○これまでのプロジェクトを振り返り、自分を見つめる。 ○これからの自分や周りの人の幸せについて考える。 ○今年度の学びを振り返り、キャリアパスポートに記入する。</p>				
<p>想定される ●ジレンマ ■エラー 【道徳的諸価値】</p>	<p>■自分たちの住んでいるまちを自分が考える「住みやすいまち」にするために、何をしたらいいのかわからない。 ■自分の思いや願いと、まちの人と出会った後の思いや願い、学級の仲間の思いや願いの中から、岐阜のまちのために自分がやってみたいことが何か決められない。 ●自分が「住みたいまち」と「住みやすいまち」は違う。 ●自分が考えていた思いと実際のまちに住む人の思いにずれがあった。 【善悪の判断、自律、自由と責任・相互理解、寛容など】</p>						<p>主体的に情報を収集する</p>	<p>■仲間どうまく活動することができない。 ■人のためになると思っていたことが、まちの人にとってはそうではなかった。どうすればよいだろうか。 ■自分の考えがうまく伝わらず、たくさん質問を受けてしまった。 ■計画したことがうまくいかない、どうすればよいのだろうか。 ■プロジェクトの成果をどのように確かめればよいのだろうか。 ■プロジェクトは本当に人の幸せにつながっているのだろうか。 ●いろいろな考えが出る中で、少しでもよりよくしていくためにはどうしたらよいのだろうか。 【真理の探究・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度・自然愛護など】</p>					<p>■計画したことがうまくいかない、どうすればよいのだろうか。 ●学級のなかまと何度も話し合いをして一緒に活動をしてきたが、これから自分の生活の中ではどんなことができるのだろうか。 【希望と勇気、努力と強い意志・親切、思いやり・友情、信頼・勤労、公共の精神など】</p>			
<p>人材活用施設</p>	<p>・自分の親 ・柳ヶ瀬商店街の人 ・岐阜に住む人々 ・奈良や京都に住む人</p>							<p>主体的に情報を収集する</p>	<p>・柳ヶ瀬商店街の人 ・岐阜に住む人々</p>					<p>・柳ヶ瀬商店街の人 ・岐阜に住む人々 ・学年のなかま ・附属のなかま ・これまでお世話になった人</p>		
<p>教科等との関連</p>	<p>・国語：聞いて、考えを深めよう 話の内容を捉えて、自分の考えをまとめる。 ・社会：日本国憲法 国の政治 願いを実現する政治 ・算数：棒グラフと折れ線グラフ 円グラフと帯グラフ データの活用 ・理科：物の燃え方と空気 生き物のくらしと環境 地球に生きる</p>								<p>主体的に情報を収集する</p>	<p>・国語：調べた情報の使い方 調べた情報を適切に用いる ・社会：わたしたちの生活と政治 多角的に考えることで、社会に生きる多様な人たちのことを踏まえながらよい方法、方策を選択する ・算数：データの活用 データを適切に活用する ・理科：電気と私たちのくらし てこのしくみとはたらき 実験してデータを集める、データを表やグラフに表して、得られた事実から考察をする</p>					<p>・国語：メディア社会 社会とのつながりについて話し合う 海の命 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合う活動 活動をスピーチにつなげる</p>	

6年1組 単元シート		本単元の目標					
単元名		問題解決力		関係構築力		貢献する人間性	
「魅力的なまちづくりに向けたプロジェクトの計画・提案・実行」 (45)		柳ヶ瀬のまちやそこを訪れる人との関わりを通して生まれた問いをもとに、自分や仲間、そこを訪れる人、それぞれの「魅力的なまち」を考え、プロジェクトを実行していく中で様々なギャップと向き合い、試行錯誤を繰り返しながら、主体的に問題解決をすることができるようにする。		「魅力的なまち」に向けたプロジェクトを計画・提案・実行することを通して、自分の考えと仲間や柳ヶ瀬のまちの人の考えとを比較し、共感的に受け止め、願いの実現に向けて、よりよい考えを生み出すことができるようにする。		実社会に生きる人の生き方を自分なりに考えたり、願いの実現に向けて行動したりすることを通して、他者に貢献することのよさを実感したり、願いの実現に向けて行動したりしようとする態度を養う。	
活動の計画	○プロジェクトを計画・提案していく。 ○願いの実現に向けて、プロジェクトを実行する。 ○プロジェクトの振り返りを行う。(10)	○自分の活動が本当にまちの人のためになっているのかを考え、プロジェクトの計画・提案・実行・振り返りを行う。 ○柳ヶ瀬商店街を訪れる人にインタビューに行く。(12)	○願いの実現に向けて、プロジェクトの計画・提案・実行を行う。(11)	○実行したプロジェクトを振り返り、岐阜のまちを「より魅力的なまち」にしていくために、自分が岐阜のまちづくりに参画できることを見だし、仲間とプロジェクトを計画・提案・実行する。(10)	○これまでの活動を振り返り、クラスとしての成果と課題を見いだすとともに、活動の中で感じた大切な生き方について確かめる。(2)		
加筆修正欄							
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんごみが落ちていた。たばこが多かった。 ・ごみ拾いをしたい。柳ヶ瀬商店街は広いから、何人かでグループを作ってそれぞれが分担して商店街のいろいろな入口から中央に向かって落ちているごみを拾っていくのはどうかな。 ・柳ヶ瀬商店街のために、少しは役立つことができたとと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落書き消しをしたい。今の8年生が去年やっていたから、どんなやり方をしたのか聞いてみよう。 ・柳ヶ瀬商店街に行ったとき、私たちの力だけでは消しきれないくらい落書きがあった。まちの人と一緒にできないかな。8年生にも声をかけてみようかな。 ・今の自分たちにできることはやっただけでもあまり落書きは減っていない気がする。まちの人がどう思っているのかを聞きに行きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾いと落書き消しを試みたけれど、ごみのポイ捨てと落書きをさせない工夫が必要だと思う。自分たちでポスターを作って、商店街の中に貼ってもらおう。 ・奈良や京都では外国人観光客が多いから、いろいろな言語で書かれていた。柳ヶ瀬のまちに貼るポスターにはどんな工夫が必要かな。 ・まちの中にポスターを一枚貼るだけでも、書く内容や貼る場所など決めることがいろいろあった。 ・自分たちがつくったポスターは、柳ヶ瀬商店街を訪れた人の視界に入っているのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでいろいろなプロジェクトを実行してきた。小さな子どもや体に障害のある人の目線でまちを見ると、他にも私たちにできることがあるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなプロジェクトをやってみたけれど、自分たちの思いをまとめるだけでも難しいし、まちの人も喜ぶことを実行することは本当に難しいことだと実感した。 ・一人一人感じることは違って当たり前だから、思いを伝え合って一緒に考えていくことが大切だと思う。 		
実際の姿							
●エラー	<ul style="list-style-type: none"> ■仲間とうまく活動することができない。 ■人のためになると思っていたことが、まちの人にとってはそうではなかった。どうすればよいだろうか。 ■自分の考えがうまく伝わらず、たくさん質問を受けてしまった。 ■計画したことがうまくいかない、どうすればよいのだろう。 ■プロジェクトの成果をどのように確かめればよいのだろう。 		<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクトは本当に人の幸せにつながっているのだろうか。 ●いろいろな考えが出る中で、少しでもよりよくしていくためにはどうしたらよいのだろうか。 				

6年1組 本時案

(1) 目標

「魅力的なまちづくり」に向けたプロジェクトを計画する活動を通して、自分の考えと仲間や柳ヶ瀬のまちの人の考えとを比較し、共感的に受け止め、願いの実現に向けて、よりよい考えを生み出すことができる。(関係構築力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

ポスターを作って呼びかけることについて考え、少しでもよりよくしていくために工夫していこうとする。(真理の探究)

本時 (23/45)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け
<p>1 本時の学習の見通しを確認し、課題を共有する ○今日計画するプロジェクトのポスターチームの願いを確認しよう。</p> <div data-bbox="170 539 1471 651" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ポスターチームの願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾いと落書き消しをしてみたけれど、ごみのポイ捨てと落書きをさせない工夫が必要だと感じました。そこで、自分たちでポスターを作って、商店街の中に貼ってもらいたいと考えました。 </div> <p>・新しいプロジェクト (ポスターチーム) の内容をみんなで考えよう。</p> <div data-bbox="170 703 1471 770" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ポスターにはどんな内容を書き、どこに貼ればよいだろうか。</p> </div>	<p>○ポスターに書く内容や、ポスターを貼る場所などを整理しながら板書できるように、事前に児童と共に板書計画を立てておく。</p> <p>○これまでのごみ拾いや落書き消しの活動をもとに、切実感をもって意見交換を行えるように「これまで自分たちで計画したプロジェクトをやってみて、まちの人たちはどんなことを感じていたのかな？」と展開に合わせて問いかける。</p>
<p>2 仲間との対話を通して考える</p> <div data-bbox="170 826 943 1090" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【表現方法に関して考えたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良や京都では外国人観光客が多いから、いろいろな言語で書かれていたよ。 ・奈良や京都にごみが少なかったのは、奈良や京都の伝統的な町並みを残したいと思う人が多いからではないかな。柳ヶ瀬商店街に残る、古くから大切にされてきたものを守りたいという思いを伝えるポスターを作ったら良いのでは？ ・短い言葉で伝えたいことが伝わるように工夫しよう。 ・柳ヶ瀬商店街の中の店の位置を知らせる看板に、ごみ箱マークを加えたい。 </div> <div data-bbox="943 786 1471 1090" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【柳ヶ瀬商店街の実態を踏まえて考えたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳ヶ瀬に行ったときに外国人はあまりいなかったから、いろいろな言語で書く必要はなさそうだよ。 ・ごみ箱の場所が分かりづらいからごみ箱にごみを捨てることができず、ポイ捨てしてしまうのかもしれない。ごみ箱の場所を知らせるポスターも必要かもしれない。 ・たばこのポイ捨てが多かった場所に、ポスターを貼ろう。 </div>	<p>○ポスターチームで司会を行い、対話を進めていく様子を見守りながら、展開に合わせて「どうしてそう思うの？」と問い返し、思いの奥にある願いを聞きだす。</p> <p>○教師は児童が発言しそうなことを事前に考え、聞き手の理解を手助けする反応をする。(例えば「柳ヶ瀬のまちを訪れる人に伝えたいことだね。」)</p> <p>○仲間の発言に質問して、自分の疑問を解決させようとしている姿を価値付けていく。</p> <p>○いろいろな考えが出る中で、願いの実現に向けて少しでもよりよくしていくために工夫しようとしている姿を価値付けていく。</p>
<div data-bbox="170 1106 1471 1225" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ポスターに書く内容に関して、ごみのポイ捨てや落書き以外の視点で考えたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てと落書きに関することだけのポスターではなく、災害時に役に立つように避難場所を知らせるポスターも作りたい。柳ヶ瀬商店街を魅力的なまちにするために、私たちにできることがもっとあると思う。 </div> <p>3 本時生み出した考えに対する振り返りを書く</p> <p>・私はごみをごみ箱に捨ててもらえるように、ごみ箱の場所を分かりやすく伝えることができるものを作りたい。そのために、今商店街にある、店の場所を知らせる看板にごみ箱マークを加えたい。午前中や夕方柳ヶ瀬商店街を訪れたときに落書きをしている人に出会ったことがないから、落書きをするのは夜だと分かる。夜でも明るい街灯の近くに落書き禁止を呼びかけるポスターを貼ったら落書きを防げるかもしれない。○○さんが言っていたように、短い言葉で伝えたいことを強調したデザインのポスターを作りたい。</p>	<div data-bbox="1503 1177 2078 1425" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目標に迫った姿をどのように見届けるか</p> <p>ポスターに書く内容やポスターを貼る場所について他の立場をふまえる様々な工夫を考えて意見を述べたり、自分が考えていなかった意見を取り入れたりして、よりよい考えを生み出している。 (関係構築力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の様子やノートの記述から見届ける。 </div>

6年3組

年間指導計画

「学びの 카테고리」：まちづくり (全105時間)

第6学年の目標	(1) 問題解決力に関わって まちやそこに住む人との関わりを通して出会った問いをもとに、自分や仲間、そこで暮らす人が幸せに生きるために自分にできることを考え、やり切ることができるようにする。																
	(2) 関係構築力に関わって 自分や仲間、そこで暮らす人の幸せのために行う様々な活動を通して、自分の考えと仲間やまちの人の考えを比較し、相違点を受け入れ、様々な考えを踏まえた上で、よりよい考えを生み出すことができるようにする。																
	(3) 貢献する人間性に関わって 社会の様々な事柄について課題意識をもち、解決しようとする活動を通して、自分が行動したことが相手の幸せやよりよい社会につながっていることを実感し、行動しようとする態度を養う。																
カテゴリー設定の理由	第5学年では、学校生活の身近な暮らしにある「人・もの・こと」に繰り返し関わりながら、探究的活動に取り組んできた。第6学年ではカテゴリーを「まちづくり」とし、対象の範囲を地域に広げて探究的活動に取り組む。その過程において、子供は、学校からさらに外にある地域に関わる人・自然・文化へと認識を広げ、地域の人々の幸せを考えたまちづくりに向けて、自分にできることは何かを考え、行動していく。																
学びの基盤となる道徳的諸価値	善悪の判断、自律、自由と責任・希望と勇気、努力と強い意志・真理の探究・親切、思いやり・友情、信頼・相互理解、寛容・勤労、公共の精神・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度・自然愛護																
学びを構成する要素	まち 市民 政治 法 環境 自然 交通 人口 建物 歴史 文化 活気 魅力 生き方 成長 目標																
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
単元名(時数)	「岐阜のまちってどんなところ？」 「岐阜のまちの印象は？」 (35時間)					金華山の自然を守る「計画・実行・振り返り」 (45時間)				「自分の将来を見つめる」 (25時間)							
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の学習を振り返り、その残してきた事実から今年度のテーマは何にするか考える。 ○「まちづくり」をするにあたって自分の興味があることは何かを考える。 ○「まち」の対象をどこまで広げるか考える。 ○自分の興味があることを学級で共有し、共通している内容でチームを編成する。 ○チームで調べたことを共有し、他のチームからの疑問を聞き、今後の探究の方向を決める。 ○岐阜のまちについてどう思うか、岐阜駅に訪れた人にインタビューをする。 ○奈良や京都で、「奈良のまち」「京都のまち」についてどう思っているか、観光客・そこで働く人、そこに住んでいる人にインタビューする。 ○インタビュー結果をまとめ、「岐阜のまち」についての良さや課題を明らかにする。 ○夏休み以降の計画を立てる。 					主体的に情報を収集する。					<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの活動しようとしていることはよりよい岐阜のまちにするための活動なのかを再確認する。 ○調査した結果の悪いところではなくいいところに着眼して考え直してみる。 ○『岐阜の自然』に着目し、学級の探究テーマとの関連を再確認する。 ○金華山での取組を調査しに行く。 ○金華山の自然を守ったり、登山客のことを考えた活動をしたりしている人に出会う。 ○その人たちがどんな活動をしているのかを知って、共感する。 ○その人たちのために自分たちもできる活動のプロジェクトを計画する。 ○プロジェクトの「実行」「振り返り」「修正」を繰り返す。 ○プロジェクトの効果を評価する。 ○これまでの活動を自分たちの生活に置き換えながら振り返る。 				<ul style="list-style-type: none"> ○冬休みでの取組を交流する。 ○岐阜のまちの人や岐阜市の人自分たちと同じようなプロジェクトをやっていないのかを考え、もっと、岐阜のまちや岐阜市で暮らしている人と触れ合い、一緒に活動できることを計画していく。 ○地域の方とコラボレーション活動を計画、実行する。 ○これまでのプロジェクトを振り返り、自分の将来を見つめる。 ○これからの自分の歩む道について、学年の仲間、II部の仲間に向けて発信する。 ○今年度の学びを振り返り、〇〇をキャリアパスポートに記入する。 		
想定される●ジレンマ■エラー【道徳的諸価値】	<ul style="list-style-type: none"> ■岐阜のまちに対する印象が、自分の考える岐阜のまちと違うところがたくさんある。 ■インタビュー結果を振り返ると、様々な方向からの内容でまとめることができない。 ●岐阜のまちに対して「まちづくり」をするために、どんなことで貢献できるかわからない。 ●自分がやりたいと思っていることは、岐阜のまちに対して、岐阜のまちに住む人、訪れる人に対して迷惑になっていないか。 【親切、思いやり 善悪の判断、自律、自由と責任など】										<ul style="list-style-type: none"> ■みんな考えているのに、全員の意見が集まらない。どうして考えを発言してくれないのか。 ■自分が必要だと思ったことについて、意見を聞き入れてもらえない。 ●自分(たち)が思っていることと、他の人との認識にずれがある。 ●プロジェクトは本当に人の幸せにつながっているのだろうか。 【希望と勇気、努力と強い意志 真理の探究 相互理解、寛容 勤労、公共の精神など】				<ul style="list-style-type: none"> ■自分たちと同じようなプロジェクトを考えている人がいないから、自分たちはどんな活動ができそうなのか、インタビューなどしてより自分もそこで暮らす人も幸せになれるようなプロジェクトをもう一度考え直さないといけない。 ■計画したことがうまくいかない、どうすればよいのだろう。 【友情、信頼 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 など】		
人材活用施設	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜駅に訪れる人 ・岐阜に仕事で来た人 ・岐阜に住んでいる人 										<ul style="list-style-type: none"> ・金華山で働く人 ・登山客 ・まちのために働く人 				<ul style="list-style-type: none"> ・まちで暮らす地域の人々 ・まちのために働く人 ・市役所の人 ・学年のなかま ・II部 (7年生・5年生) ・これまでお世話になった人 		
教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・国語：聞いて、考えを深めよう 話の内容を捉えて、自分の考えをまとめる。 ・社会：日本国憲法 国の政治 願いを実現する政治 ・算数：棒グラフと折れ線グラフ 円グラフと帯グラフ データの活用 割合 ・理科：物の燃え方と空気 生き物のくらしと環境 地球に生きる 					<ul style="list-style-type: none"> ・国語：調べた情報の使い方 ・社会：わたしたちの生活と政治 ・算数：データの活用 				<ul style="list-style-type: none"> ・国語：メディア社会 海の命 調べた情報の使い方 ・算数：データの活用 							

6年3組 単元シート		本単元の目標		
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
単元名 金華山の自然を守る 「計画・実行・振り返り」(45)		金華山の自然を守り、登山客のことを考えた活動をしている人たちと対話することで、この自然が守れるために、訪れる人が幸せになれるために考えることができるようにする。	金華山で働く人や訪れる人の幸せを考え、その人たちの思いや仲間の考えを受け入れることで、よりよい活動計画をつくりだそうとすることができる。	金華山で取り組んだ活動の成果が継続できるように行動しようとする態度、それが日常の自分たちの態度を振り返ろうとする態度を養う。
活動の計画	○自分たちの活動しようとしていることはよりよい岐阜のまちにするための活動なのかを再確認する。 ○調査した結果の悪いところではなくいいところに着眼して考え直してみる。 ○『岐阜の自然』に着目し、学級の探究テーマとの関連を再確認する。(8)	○金華山での取組を調査しに行く。 ○金華山の自然を守ったり、登山客のことを考えた活動をしたりしている人に出会う。 ○その人たちがどんな活動をしているのかを知って、共感する。(12)	○その人たちのために自分たちもできる活動のプロジェクトを計画する。 ○以下のサイクルを5回程度繰り返す。 ・プロジェクトの「実行」 ・プロジェクトの「振り返り」 ・プロジェクトの「修正」(20)	○プロジェクトの効果を評価する。 ○これまでの活動を自分たちの生活に置き換えながら振り返る。 ・冬季休業日にできそうなことを交流する。(5)
加筆修正欄				
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットやチラシの配布やポスター掲示以外の方法はないのかな。 岐阜のまちのいい所に着眼して活動すると、活動がポジティブになりそう。 岐阜の自然に着目して活動することは、まちづくりにつながるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 金華山で働く人はこんな思いで、私たちの知らないところで、こんなことをしているのだな。 もっといろいろなこと（やってみてよかったこと、逆に残念だったことなど）を聞いてみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> 金華山でこの活動をしたら、登山客の迷惑にならないかな。 大変だけど、金華山の自然を守るためにがんばろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 本当にこれで岐阜のまちづくりに参画できたといっているのか。 自分の日常を振り返ると、改めなければならぬことがあるな。
実際の姿				
エラー	<ul style="list-style-type: none"> ● みんなで考えているのに、全員の意見が集まらない。どうして考えを発言してくれないのか。 ● 自分が必要だと思ったことについて、意見を聞き入れてもらえない。 ● 自分(たち)が思っていることと、岐阜のまちに住む人・訪れる人との認識にずれがある。 ● プロジェクトは本当に人の幸せにつながっているのだろうか。【希望と勇気、努力と強い意志 真理の探究 相互理解、寛容 勤労、公共の精神など】 			

6年3組 本時案

(1) 目標

金華山の自然を守り、登山客のためにできる活動を考えることを通して、自分がやりたいことだけではなく、金華山で働く人や訪れる人の幸せを考えなければならないことに気付き、自分たちのチームの考えに仲間の考えを受け入れることで、よりよい活動計画をつくりだそうとしている。(関係構築力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

自由に自分たちがやりたいこと、金華山で働く人やそこに訪れている人の状況や気持ちも考慮して判断しなければならないといった、多面的・多角的な理解をもとに、自律的で責任のある行動をしようとする。(善悪の判断、自律、自由と責任)

本時 (22/45)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)					○教師の手立てと見届け ■エラー ●ジレンマ						
<p>1 本時の学習の見通しを確認し、課題を共有して設定する</p> <p>○今日、みんなで話し合うことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この前金華山に行ったとき、金華山の森林を守っている人がいたから、私たちも手伝いたい。 ・金華山で働く〇〇さんが「〜〜」って言っていたから、それを少しでも改善できるようにしたい。 					<p>○これまでの話し合いを振り返り、今日明らかにしなければならないことを確認し、本時の学習する目的(学習課題)を確認する。</p> <p>■自分が必要だと思ったことについて、意見を聞き入れてもらえない。</p> <p>●金華山に訪れている人の思いやそこで働く人の思いから、自分が良かれと思った活動が逆に迷惑になるかもしれない。</p> <p>○教師はエラーやジレンマを抱える子に寄り添い、どうすればよいのか一緒に考えたり、仲間の思いを汲み取った発言を価値付けたりする。</p>						
<p>金華山の森林を守り、登山客のためにできることは何か。</p>											
<p>2 プロジェクトチームで集まってどんなことができそうなのかを対話して考え、全体で確認する</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 16.6%;"> <p>◇安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足を滑らして転ばないように階段のゴミを拾おう。 </td> <td style="width: 16.6%;"> <p>◇ゴミ削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枯れ木や落ち葉以外のゴミがあったら拾おう。 </td> <td style="width: 16.6%;"> <p>◇環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の山と比べて、金華山にしかないもの、逆に金華山にはないものを調べてみよう。 </td> <td style="width: 16.6%;"> <p>◇歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金華山のことが書かれている看板をきれいにしよう。 ・金華山に関連している歴史的なことって何かあるかな。 </td> <td style="width: 16.6%;"> <p>◇観光・魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の人たちに金華山に来た理由を聞いてみよう。 ・売店の人たちに協力できることはないかな。 </td> </tr> </table>					<p>◇安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足を滑らして転ばないように階段のゴミを拾おう。 	<p>◇ゴミ削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枯れ木や落ち葉以外のゴミがあったら拾おう。 	<p>◇環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の山と比べて、金華山にしかないもの、逆に金華山にはないものを調べてみよう。 	<p>◇歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金華山のことが書かれている看板をきれいにしよう。 ・金華山に関連している歴史的なことって何かあるかな。 	<p>◇観光・魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の人たちに金華山に来た理由を聞いてみよう。 ・売店の人たちに協力できることはないかな。 	<p>目標に迫った姿をどのように見届けるか</p> <p>金華山で働く人や訪れる人の幸せを考えながら、自分たちのチームの考えに仲間の考えを受け入れようとしている。(関係構築力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話の様子や全体における発言の様子、本時を振り返る様子から見届ける。 	
<p>◇安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足を滑らして転ばないように階段のゴミを拾おう。 	<p>◇ゴミ削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枯れ木や落ち葉以外のゴミがあったら拾おう。 	<p>◇環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の山と比べて、金華山にしかないもの、逆に金華山にはないものを調べてみよう。 	<p>◇歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金華山のことが書かれている看板をきれいにしよう。 ・金華山に関連している歴史的なことって何かあるかな。 	<p>◇観光・魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の人たちに金華山に来た理由を聞いてみよう。 ・売店の人たちに協力できることはないかな。 							
<p>・すべての活動は一度にできないから、まずは登山道のゴミ拾いからしたらどうかな。</p> <p>・金華山には、10個の登山道があるから、登山道のゴミ拾いを10回やらなくちゃいけないね。</p> <p>・35人が一度に活動すると登山道をふさいじゃうことにならないかな。</p> <p>・みんなが広がって自分の活動場所を決めてやったらどうだろう。</p> <p>・活動の最中に、金華山に来た人に「なんで来たのか」「登山してどうだったのか」を聞きたいな。</p> <p>・歴史的なことを伝えている工夫やカラスが集まらない工夫とかがあったら、それも調べておきたいな。</p> <p>・山を登って降りてきた人は疲れているからインタビューをすることは迷惑じゃないかな。</p> <p>3 本時の学びの振り返りを交流する</p> <p>・私は「安全チーム」です。今日は、岐阜の緑を守るために、まずは金華山の整備になるようなことを考えました。私はただゴミを拾えばいいと思っていたけれど、〇〇さんの「みんなが一度に活動すると、道をふさいじゃう。」の発言を聞いて、ハッとしました。これは、私たちが登下校するときも友達と話すことに夢中になって、通行する人の道をふさいでいることと同じだなと思ったからです。自分が活動するとき、そこに来ている人のことも考えながらやらないと、逆に迷惑になるから気を付けないといけないと思いました。</p>											